

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	卒業：選択 幼一免：選択
担当教員			
松井 由美子			

講義概要	①乳幼児の発達めやすを知る。親子の触れ合いについて深める。乳幼児健診について体験する。 ②自分について知る。他者と自己を見つめる機会を深める。自己解放できるゲーム等を体験する。 ③「あそび」の基本要素について知る。「あそび」が育む「五感力」の研究を深める。「食育」の体験にもつなげる。 ④「あそび」の道筋について知る。「あそび」の接続について深める。考えた「あそび」を体験する。 ⑤乳幼児施設と小学校施設等の違いを知る。保幼小連携について考えて見る。
------	---

授業計画	1 生活科とは 求められる経験と生命の尊重 2 乳幼児の成長 主体的な体験の場からの学び 昆虫飼育 3 乳幼児の成長 主体的な体験の場からの学び（ツイنزちゃん 子育て広場等） 昆虫飼育 4 表現の過程 描くことは運動機能の発達と自己表現 昆虫飼育 5 表現の過程 イメージの共有から共同的な遊びへ 昆虫飼育 6 表現の過程 イメージの共有から共同的な遊びへ 昆虫飼育 7 あそびの基本要素 室内あそび ヒヤシンス水栽培 昆虫飼育 8 あそびの基本要素 戸外あそび ヒヤシンス水栽培 昆虫飼育 9 あそびの基本要素（学び） 遊びが育む問題解決力 ヒヤシンス水栽培 10 あそびの道筋 感じる、気づき ヒヤシンス水栽培 11 あそびの道筋 考える、試す ヒヤシンス水栽培 12 あそびの道筋 経験を重ねる、納得する ヒヤシンス水栽培 13 あそびの道筋 経験を重ねる、納得する（食育から） ヒヤシンス水栽培 14 小学校との連携 保幼小連携のプログラムを経験する ヒヤシンス水栽培 15 生活科とは 求められる経験と生命の尊重（評価と考察）
------	---

授業形態	講義
------	----

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①乳幼児の心と身体の成長の発達を理解する。 ②自分と家族、自分と他者について考えて関わる事ができる。 ③自然とふれ合う中で感知する面白さや五感力を高めることを理解する。 ④気づきを深める内容を通して、乳幼児期に知的探究心を育み教育方法を試行することができる。 ⑤「学びの芽生え」が保幼小連携につながる事を習得する。 課題レポート、ディスカッションの内容を総合して評価する。 課題レポート（50%）、ディスカッションの内容（50%）
--------------------	---

教科書・参考書	参考書：保幼小連携カリキュラム（佐世保市） 遊びは人間行動のプラモデル？ 子育て情報誌・ふれあい（佐世保市） 小川純正
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】次回の講義内容を予習し、保育実践における自らの疑問や課題を明らかにしておくこと